

# ここからは補足説明です

# 喫煙場所 限定

## 受動喫煙の問題で、喫煙場所の限定



受動喫煙の問題で、喫煙場所の限定

# マナーから法律による制限に

## 2015年6月 労働安全衛生法68の2 「受動喫煙の防止」

6ヶ月以下の懲役  
または50万円以下の罰金

# 2018年 健康増進法一部改正 2020年4月1日から実施

秩序違反  
30万円以下の過料

標識関連違反  
50万円以下の過料

2018年7月、健康増進法の一部を改正する法律が成立しました。

このことで、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、マナーからルールへと変わります。



多くの施設において  
屋内が原則禁煙に



20歳未満の方は  
喫煙エリアへ立入禁止に



屋内での喫煙には  
喫煙室の設置が必要に



喫煙室には  
標識掲示が義務付けに



## マナーから法律による制限に

歩きタバコ  
ポイ捨て禁止



就業規則で、喫煙の禁止（法律で定められている範囲）

# マナーから法律による制限に

## 各自治体による条例化

平成17年11月

静岡市

「歩きタバコ禁止条例」  
の制定

違反：静岡市2000円～群馬県50000円以下



ポイ捨てをなくすため、歩きたばこの禁止条例制定

# マナーから法律による制限に

就業規則で  
喫煙禁止



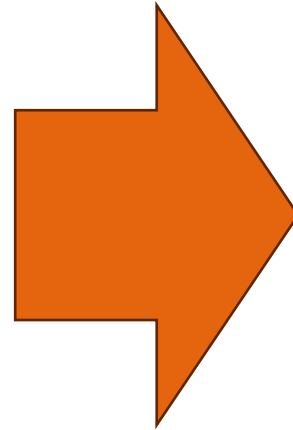
ポイ捨てをなくすため、歩きたばこの禁止条例制定

# マナーから法律による制限に

## 就業規則で喫煙禁止事例 大手運送会社 S 社の例

1900年代

一部営業所で先行実施  
(各営業所約50台～200台)



2009年

全国すべての集配車を  
対象に車内禁煙を宣言  
(約2万6千台全て)

就業規則で喫煙禁止(法律で定められている範囲)



# 補足 【車内禁煙】 常識化の理由

## 交通事故リスクの軽減

→ 喫煙中の片手運転や注意散漫を防止。

## 受動喫煙の防止

→ 非喫煙者の健康被害や苦情を回避。

## 荷物への臭い移り対策

→ 食品や衣類などへの臭い移りを防ぐ。

## 車内環境の清潔維持

→ 吸い殻・ヤニ汚れ・焦げ跡などの防止。

## 車内環境の清潔維持

→ 吸い殻・ヤニ汚れ・焦げ跡などの防止。

## 健康経営の推進

→ 喫煙習慣の改善を促し、社員の健康を守る。

## 企業イメージの向上

→ 安全意識・衛生意識の高い企業として信頼を得る。

## 採用・定着への効果

→ クリーンな職場環境を求める若手人材に好印象。